

永関式 頭痛問診票(初診用)

監修:ながせき頭痛クリニック 院長 永関 廉重

お名前: 職業: 年齢: 性別: カルテ No.

下記の質問について、該当するものに○印、もしくは()内にご記入ください。

1.いつごろから頭痛を自覚していますか? (生まれて初めて頭痛を自覚した年齢や時点を記入してください) ()歳頃から・()日前から・()ヶ月前から・()年前から
2.どのあたりが痛くなりますか? (まず痛む側を、その後痛む場所を記入してください) 右・左・両側: [おでこ・目の周囲・目の奥・コメカミ・頭頂部・耳の上・耳の後ろ 後頭部・首筋・頭全体・他()])
3.どのように痛くなりますか? 締め付けられる・ギューッと押される・脈を打つような(ズキンズキン・ドックンドック)・全体が重い 電気が走るような(チクチク・ズキズキとした瞬間的な痛み)・割れそうに・他()])
4.頭痛の頻度はどのくらいですか? ()カ月に()回位・()週間に()回位・ほぼ毎日(日・カ月・年)前から
5.頭痛はどのくらい続きますか? ()時間位で治まる・()日位で治まる・()週間位・ずっと続いている
6.頭痛のときの症状で、痛み以外にはどのようなものがありますか? ない・ある:[肩こり・吐き気がする・嘔吐・階段昇降や頭を動かす動作で痛みが増強する・生理痛・涙が出る 鼻水が出る(黄色・透明)・落ち着きがない・めまい(クラクラ・フワフワ・天井が回る)]
7.頭痛に伴い、普段は気にならない光をまぶしく感じことがありますか? また、それはどのような光ですか? ない・稀にある・時々ある・常にある ある場合:[太陽・蛍光灯・テレビ画面・パソコン画面・他()])
8.頭痛に伴い、普段は気にならない音をうるさく感じことがありますか? また、それはどのような音ですか? ない・稀にある・時々ある・常にある ある場合:[テレビ・話し声・泣き声・雑踏音・ハイヒールで歩く音・他()])
9.頭痛に伴い、普段は気にならない匂いを嫌だと感じことがありますか? また、それはどのような匂いですか? ない・稀にある・時々ある・常にある ある場合:[タバコ・香水・食べ物・汗・アルコール・他()])
10.ご家族に頭痛持ちはいらっしゃいますか? いいえ・はい:[父親・母親・娘・息子・兄・弟・姉・妹・祖父・祖母・叔父・叔母]
11.頭痛の前に、目の前がチカチカしたり、ぼやけることがありますか? また、その症状が出始めてから頭痛が起こるまでにはどのくらいかかりますか? いいえ・はい:[内容: 頭痛が始まるまでの症状持続時間(分)]
12.頭痛のとき、どのような日常生活に支障をきたしますか? 学校や仕事を休んだ・保健室で寝たり、早退をした・家事や仕事中に横になった・我慢して仕事や勉強をした 予定をキャンセルした・休みの日は寝ていたい・できれば寝ていたい・じっとしている・やる気が出ない
13.これまで頭痛薬は飲んでいましたか?(複数選択可) いいえ・はい:[バファリン・イブ・ナロンエース・セデス・ノーシン・ハッキリエース・サリドン・タイレノール・ニューカイテキZ ロキソニン・カロナール・アスピリン・SG顆粒・ハイベン・モービック・イミグラン(注射・点鼻・錠剤)・ゾーミック レルパックス・マクサルト・アマージ・他()])
14.現在は、どの頭痛薬を1ヶ月に何日程度お飲みになりますか? 常備薬:()・1ヶ月に()日程度服薬
15.これまでに頭痛で、他の医療機関にかかったことがありますか? いいえ・はい
16.これまでに頭痛で、頭部検査を受けたことがありますか? また、それはいつ頃ですか? いいえ・はい:[頭部CT・頭部MRI・頭部MRA・脳波検査・不明] 検査時期:()年前・()ヶ月前

ご記入ありがとうございました。以上でアンケートは終了です。

PedMIDAS(日本語版)

Ver1.1

あなたの頭痛について質問します。

この結果で頭痛がどれだけあなたの日常生活に支障をきたしているかを知ることができます。

過去3ヶ月の間にあったすべての頭痛について、以下の質問に答えてください。

「正」「誤」を答えられない日は、推測でも結構です。

該当する出来事がなければ、0「ゼロ」と記入します。

1. 過去3ヶ月の間で、頭痛のために学校を完全に休んだ日が何日ありましたか？	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 過去3ヶ月の間で、頭痛のために学校を遅刻、早退した日は何日ありましたか？ (質問1で答えた日数は入れないでください。)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. 過去3ヶ月の間で、頭痛のために学校での勉強がいつもの半分以下しかできなかった日は何日ありましたか？(質問1、2で答えた日数は入れないでください。)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. 過去3ヶ月の間で、頭痛のために家庭での物事(例えば 雑用、宿題など)を行えない日は何日ありましたか？	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
5. 過去3ヶ月の間で、頭痛のために他の活動(例えば 遊ぶ、外出する、スポーツをするなど)を行えない日は何日ありましたか？	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
6. 過去3ヶ月の間で、活動に参加する事は出来たものの、あなたの能力の半分も力を発揮出来なかった日は何日ありましたか？(質問5で数えた日数は入れないで下さい。)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
PedMIDAS の合計得点は何日ですか？	合計 <input type="text"/> <input type="text"/> 日
A. 過去3ヶ月の間で、頭痛のあった日は何日ありましたか。(頭痛が1日以上続いた場合は、それぞれの日を1日と数えて下さい。)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
B. 頭痛の程度について、0~10点で採点するとすれば、平均何点でしたか?(この場合、全く頭痛がなかった場合は0点、これ以上ないくらい痛かった場合を10点とします。)	<input type="text"/> <input type="text"/> 点

● PedMIDAS評価のしかた

質問1~6に対して、あなたが記入した日数を合計し、スコア表に照合して支障度を評価します。

PedMIDASのスコアは、重症度に応じて以下の4段階に分類されます。

評価段階	定義	スコア(合計日数)
I	日常生活に支障まったくなし、またはほとんどなし	0~10
II	日常生活に軽度の支障	11~30
III	日常生活に中等度の支障	31~50
IV	日常生活に重度の支障	51以上

質問A、Bをも含む全ての回答結果を評価することにより、頭痛による日常生活への支障度のみならず、重症度をも確認できる仕組みになっています。

PedMIDAS 日本語版は、Cincinnati Children's Hospital Medical Center (2001年)作成の PedMIDAS をもとに、MIDAS 日本語版(日本頭痛学会理事長 坂井文彦先生監修)を参考にして、小野市民病院 小児科安島英裕が作成しました。

2010年9月



このアンケートは、頭痛のせいで、あなたがどのように感じているか、また、どのようなことに支障をきたしているかを、正確に表現し伝えることをお手伝いするために作られました。

1~6の質問で、もっともあてはまるものに○をつけて下さい。



頭が痛いとき、痛みがひどいことがどれくらいありますか？

全くない	ほとんどない	時々ある	しばしばある	いつもそうだ
------	--------	------	--------	--------



頭痛のせいで、日常生活に支障が出ることがありますか？
(例えば、家事、仕事、学校生活、人付き合いなど)

全くない	ほとんどない	時々ある	しばしばある	いつもそうだ
------	--------	------	--------	--------



頭が痛いとき、横になりたくなることがありますか？

全くない	ほとんどない	時々ある	しばしばある	いつもそうだ
------	--------	------	--------	--------



この4週間に、頭痛のせいで疲れてしまって、仕事やいつもの活動ができないことがありましたか？

全くなかった	ほとんどなかった	時々あった	しばしばあった	いつもそうだった
--------	----------	-------	---------	----------



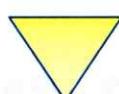
この4週間に、頭痛のせいで、うんざりしたりいらいらしたりしたことありましたか？

全くなかった	ほとんどなかった	時々あった	しばしばあった	いつもそうだった
--------	----------	-------	---------	----------

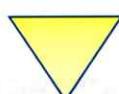


この4週間に、頭痛のせいで、仕事や日常生活の場で集中できなことがありますか？

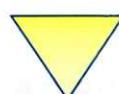
全くなかった	ほとんどなかった	時々あった	しばしばあった	いつもそうだった
--------	----------	-------	---------	----------



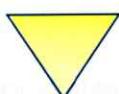
+



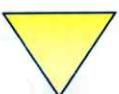
+



+



+



第1選択肢
(各6点)

第2選択肢
(各8点)

第3選択肢
(各10点)

第4選択肢
(各11点)

第5選択肢
(各13点)

各選択肢の得点を合計して総合得点を出します。
この結果をもとに、医師の診察を受けて下さい。

総合得点

点数が高いほど、生活への影響が
大きいことを意味します
(最低点36点～最高点78点)



頭痛インパクトテスト

あなたのスコアの意味は？

スコアが 60以上の場合	頭痛が日常生活にかなりの影響を与えています。正常な生活機能を妨げる程の激しい痛みやその他の症状が、頭痛に悩まされる他の人々よりも重症です。頭痛が、家庭、仕事、学校や社会活動などにおける大切な活動を妨げないように注意が必要です。 HIT-6のスコアと頭痛に関して医師にご相談されることをお勧めいたします。
スコアが 56～59の場合	頭痛が日常生活にかなりの影響を与えています。すなわち激しい痛みやその他の症状のために、家庭、仕事、学校や社会活動が妨げられている場合があります。 HIT-6のスコアと頭痛に関して医師にご相談されることをお勧めいたします。
スコアが 50～55の場合	頭痛が日常生活にある程度の影響を与えています。頭痛により家庭、仕事、学校や社会活動が妨げられている状況は正常とはいえません。 次回、診察を受ける際に、HIT-6のスコアについて必ず医師に相談ください。
スコアが 49以下の場合	現状では、頭痛が日常生活にほとんど、あるいはまったく影響を与えていません。今後も毎月1回HIT-6テストを受け、頭痛が日常生活にどのような影響を与えるかを知っておくことをお勧めします。

▼ HIT-6のスコアが50以上の場合

スコアについて医師とご相談ください。日常生活に影響を与えていたる頭痛は、片頭痛である可能性があります。

医師の診察を受ける際に、HIT-6を持参してください。研究によると、患者さんが日常生活においてどの程度頭痛に悩まされているかを正確に知ることで、医師はより効果的な治療方法を提供することができると報告されています。この治療法には、薬物療法が含まれる場合があります。

▼ HITとは

頭痛インパクトテスト(Headache Impact Test : HIT)は、仕事、学校、家庭および社会において頭痛が個人の活動にどのような影響を与えるかを測定するためのツールです。あなたのスコアは、通常の日常生活とあなたの機能する能力に頭痛がどのような影響を与えるかを示しています。HITは、神経学や一次医療における海外の頭痛専門家のチームが、SF-36ヘルス アセスメント ツールを開発した精神神経学者との協力により開発されました。

HITは、医療診断や治療に関する医学的アドバイスを提供するものではありません。個々の症状に関しては、医師にお尋ねください。